



2018年12月14日

ブラム ショットが AUDI AG 取締役会の新会長に就任

- 2019年1月1日付けで任命
- アウディ監査役会会長 兼 フォルクスワーゲン CEO Dr. ヘルベルト ディース：「私たちはアウディの将来の方向性を定めるための重要な基礎を築いた」
- アウディ監査役会副会長 兼 労使協議会議長ペーター モッシュュ：「従業員は、アウディの新たなスタートに向けて、さらに弾みがつくことを期待している」

2018年12月12日、インゴルシュタット：AUDI AG 監査役会は、ブラム ショットを2019年1月1日付けで取締役会会長に任命しました。ショットは、2018年6月からアウディの暫定 CEO を務めており、1月1日以降も販売 マーケティング担当取締役を一時的に兼任する予定です。

アウディ監査役会会長 兼 フォルクスワーゲン グループ最高経営責任者（CEO）の Dr. ヘルベルト ディースは、次のように述べています。「私たちは、新しい取締役会会長を任命することにより、アウディの将来の方向性を定めるための重要な基礎を築きました。ブラム ショットは、暫定 CEO に就任して以来、その責務にふさわしい仕事をしています。彼はアウディの企業文化の変革を推進しており、現在の課題に積極的に取り組んでいます。彼は、この重責に応え、会社の変革を加速し、アウディを新たな成功へと導くでしょう」

アウディ監査役会副会長 兼 総労使協議会議長のペーター モッシュュは、次のように述べています。「アウディの従業員は、会社のトップに明確な条件を求めています。そのため、私たちアウディ従業員一同は、適正な業務の遂行に取り組み、ブラム ショットを取締役会会長に任命することに尽力しました。彼は、暫定 CEO としての期間中に、私たちが求めて開始した新たなスタートに、大きな弾みをつける能力があることを示しました。彼は現在の路線を踏襲し、再びアウディを高みへと押し上げる役割を担っています。それこそが、従業員が期待していることです」

ブラム ショット (57) は、2019年1月1日付けで、ドゥカティ、ランボルギーニ、イタルデザイン ジウジアーロ、アウディ ブランドを含む、AUDI AG 取締役会会長に就任し、会長就任後も、一時的に販売 マーケティング担当取締役を兼任することになります。ショットは、2017年9月から AUDI AG 販売 マーケティング担当取締役を務めており、2018年6月19日には暫定取締役会会長に任命されていました。

オランダ生まれのショットは2011年に、メルセデスベンツ イタリアの社長兼 CEO を離職してフォルクスワーゲン グループへ転職し、グループの販売部門で戦略的プロジェクトの策定を担当しました。2012年からはフォルクスワーゲン商用車の販売 マーケティング取締役を務めました。

※本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。